



題名「春待鳥海」由利本荘市由利町陳ヶ森から描く

秀麗鳥海山それは、近くにいても遠くにいても元気を貰える山。
 中でも厳寒の表情に暖かさが見え始める初春の頃の鳥海山には、何とも言えない勇気が湧いてくるのは私だけでしょうか、雪山が暖かく見えてくるんです。「鳥海山」いつも希望と勇気をありがとう。
 絵画提供：本荘地区保護司 湯保 卓雄

秋田更生保護

第 79 号
 発行所
 秋田市山王7-1-2
 更生保護法人
 秋田県更生保護援護協会
 (編集)
 秋田更生保護編集委員会
 (題字)
 小 熊 良 悦
 (印刷)
 (株)アクティス

令和6年1月1日現在
 保護司数 687名



新年を迎えて

更生保護法人秋田県更生保護援護協会

理事長 加賀谷 文秋
かがや ぶんしゅう

新年あけましておめでとうございます。
 令和元年以来、新型コロナウイルスに大きく振り回されてきましたが、昨年5月には5類感染症に移行されました。今後においても、個々に感染対策等しながら前に進んでいくことになるかと思えます。

さて、当方におきましては、昨年4月18日の秋田県更生保護援護協会理事会において小畑悟前理事長の後任として理事長に就任いたしました。身が引き締まる思いではありますが、微力ながら今後とも更生保護事業の推進を図ってまいれる所存ですのでよろしく願いたします。

あらためまして更生保護援護協会関係者の皆様には事業支援、当法人への多大なご寄付や賛助会費をいただき、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

ところで、今年辰年ですが、辰年は時代を動かす「変革」(転機)や「激動」と言われております。まさに

昨今の更生保護を取り巻く環境は、この変革の時期ではないでしょうか。

昨年12月には、刑法等の一部改正の施行を契機に更生保護が大きく変わり、それに伴い、更生保護事業法の事業名称の変更がなされました。更生保護事業は多岐に渡り、再犯防止、立ち直りへの就労支援を必要としている人たちへの援助等を行うには、さらに多くの方の理解と協力が必要となっております。

「犯罪に 戻らない・戻さない」を目標に、今後私たちの活動が一層活発に展開されますことを願い、少しでもお役に立てればと念じております。

最後になりましたが、皆様のご多幸と更生保護事業の増々の発展を祈念いたしましてあいさつとさせていただきます。



謹賀新年

更生保護法人秋田県更生保護援護協会
 理事長 加賀谷 文 秋
 更生保護法人秋田至仁会
 理事長 加 藤 忠 輔
 秋田県保護司会連合会
 会 長 新 野 建 臣
 秋田県更生保護女性連盟
 会 長 齊 藤 正 子

NPO 法人秋田県就労支援事業者機構
 会 長 伊 藤 萬 治 郎
 秋田県 BBS 連盟
 会 長 菅 原 大
 秋田保護観察所
 所 長 正 木 勉



更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

10月12日、理事・監事参加のもと、5年ぶりとなる秋田刑務所への施設参観を開催しました。施設から入出者、収容状況等の説明があり、その後、収容棟、作業現場の見学を行いました。



10月12日 秋田刑務所正門前

・協会 監事の交代(令和5年4月1日)

木内 幸雄 ↓ 常盤 誠

記載漏れがありましたので改めてご報告いたします。

法務大臣感謝状の伝達

11月20日(月)あきた芸術劇場ミルハスにおいて開催された、「第56回秋田県更生保護大会」において受彰されました方々のご紹介をします。(敬称略)

東北地方更生保護委員会委員長表彰
 尾形 和雄

秋田保護観察所長表彰
 清水 重輝 田代 苑子

受彰された皆様、おめでとうございます。



原沢委員長からの伝達(更生保護法人役職員)

篤志者寄附金の御芳名

- 一金 二十万円 新野 建 臣 様
- 一金 十万円 米 谷 民 憲 様
- 一金 三万円 曹洞宗保護司会秋田県支部 様

当協会運営に対しましてご寄附を戴きました皆様、また、普通会员・賛助会員の方々には、この場をお借りして深く感謝申し上げます。



吉田理事への伝達(10月12日)



大山理事への伝達(10月16日)

平成2年から平成22年まで理事を努めていただきました大内ハナ様が令和5年12月5日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、これまでのご尽力に感謝申し上げます。

秋田県保護司会連合会

★ICT研修会

10月26日、アキタパークホテルにおいて、各地区ICT担当者の研修会を開催しました。当連合会のホームページ視聴後、金山常務からフェイスブック投稿の仕方を説明いたしましたところ、研修員はなかなか上手に投稿ができず四苦八苦する場面もありましたが、熱心にパソコン、スマホとにらめっこしておりました。その後、ICTの進むべき方向性等を協議しました。当日はお忙しい中、松本企画調整課長、藤原会計係長にもご出席いただきました。



熱心に投稿の仕方を学びました

★地区会長等連絡協議会開催

11月29日、秋田市さしみ温泉において、各地区会長・事務局長等計33名の出席のもと開催し、泊りを伴う会議は7年ぶりとなりました。今年度開催された社明モデル地区の結果報告やブロック別更生保護活動研究会の報告等を行いました。また、その他として、次年度の事業担当地区の確認、ICTのアンケート結果等を報告しました。



★12月5日大館地区保護司セミナー開催



★ブロック別更生保護活動研究会



10/20 県南ブロック(角館地区)



10/5 県央ブロック(秋田東支部)



10/3 県北ブロック(北秋田地区)

秋田県の更生保護

<https://akita-kouseihogo.com>



← ホームページ「秋田県の更生保護」のQRコードです。

秋田県保護司会連合会

<https://www.facebook.com/akitakenhogosikai/>



← フェイスブックのQRコードです。

★令和5年度 SST研修開催



10/22 横手地区



10/15 秋田地区中央支部

秋田至仁会

令和5年8月4日(金)、秋田市八橋の全良寺において、秋田至仁会の前身、秋田出獄人保護所の創設者であり秋田県及び東北地方における「更生保護の父」と称される川村養助氏の供養祭が墓前で行われ、川村氏と御家族の冥福を祈りました。

川村氏の命日は8月4日であり、供養祭は平成21年から毎年行われ、当初は県内の更生保護団体から代表者等多数の出席を得て開催していましたが、平成27年の没後110周年記念供養祭を区切りとして、翌年からは参列者等の規模を縮小して実施しており、この日も当法人の加藤理事長ほか役員10人が出席し、花や果物等を墓前に供え、参列者同手を合わせました。

最後に、目黒理事から「創設者川村養助氏の墓前に寄せて」と題して親族のその後の足どりについて講話があり、川村氏の出獄人保護の精神と足跡を風化させないよう永く継承していくことを再確認しました。



8月4日 全良寺にて

秋田県更生保護女性連盟

「東北地方更生保護女性会員研修会」

9月25、26日福島市福島グリーンパレスにて東北各県の会員が参集し開催されました(秋田県16名参加)。「誰一人取り残さない地域社会をつくる更生保護女性会活動を求めて」をテーマとし、①諸団体と連携・協働し、わが地域の安心・安全のため、更女が担う役割について②子どもたちの健やかな成長のために更女ができる活動について③更女会員の減少問題とこれからの時代を生き残る更女組織の強化について④東北の特性を生かし、今の地域の活動を解決するため、私たちが伝えられる事について熱く協議しました。(6年度・山形県、7年度・秋田県開催予定)

「秋田県更生保護女性会員研修会」

11月8日、秋田にぎわい交流館AU多目的ホールにて、秋田保護観察所長 正木 勉様、保護観察官藤井正人様、秋田県保護司会連合会長新野建臣様、秋田県更生保護女性連盟前会長太田有子様のご臨席を頂き開催しました。(担当：大館地区 会員185名、一般30名参加)

「東北地方更生保護女性会員研修会」に参加して①「子育て支援地域活動モデル地区」活動報告を由利本荘地区岩崎通子②分科会報告を秋田地区石黒かほる③「日本更生保護女性会員中央研修参加報告」を河辺雄和地区高屋洋子が発表しました。その後、保護観察所長正木様から「本当に更生できるの？」の演題で講話を頂きました。何時でも何処でも、誰でも加害者(家

族)、被害者(家族)になりうるという切さを改めて認識しました。

午後是一般県民も参加し映画「ほけますから、よろしくお願ひします」をおかえりお母さん」を鑑賞しました。4年ぶりの午前午後の研修会でしたが実り多一日でした。



11月8日 会員全員で綱領唱和

秋田県就労支援事業者機構

保護観察対象者等を雇用した協力雇用主は、国の「刑務所出所者等就労奨励金」の支給対象となりますが、期間等の関係から支給対象外となった案件について、予算の範囲内とはなりません。当機構から助成を行っています。

また、令和3年6月から、短時間・短期間の雇用にて化した給与支払い助成の「お試し雇用」を開始しました。令和4年度は、2事業者に対し計3件の給与支払い助成(「お試し雇用」を含む)を行いました。令和5年度におきましては、年度途中になりますが、2事業者

に対し3件の助成を行っております。短期間短時間の雇用について助成を行うことに対しては、継続的な就労を目指す就労支援の目指すものとは異なる部分もありますが、保護観察対象者等の中には、社会内における就労の経験が乏しい者も少なくなく、いきなり本格的な雇用を目指すにはハードルが高い者も一定数あり、また、協力雇用主の側にとっても、登録はしたものの、その後、社内からの反対等があり、実際に雇用することには躊躇する雇用主もいると思われることから、その隙間を埋めるものとして「お試し雇用」を活用できればと考えています。

人口や産業・経済の規模のみならず、保護観察の事件数も少ない秋田県です。当機構の規模も小さく、専任の事務局員もおりません。そのため、大都市圏にある就労支援事業者機構のような活動はできませんが、小規模で目立たないかもしれませんが、「機構があつてよかった。」と思っただけのような、地道で持続可能な活動を展開していきたいと考えております。

また、情報提供になりますが、これまで秋田保護観察所において、秋田県就労支援事業者機構の事務局を担ってきましたが、近い将来、秋田保護観察所から独立を見込んでおりますので改めて正式に決定した際にはご報告させていただきます。



秋田保護観察所

「Clio」が誕生しました
更生保護法の改正により、令和5年

12月1日から、保護観察所の業務として、「刑執行終了者等に対する援助」と「更生保護に関する援助」の二つが新たに加わることになりました。このことに伴い、保護観察所内に「犯罪・非行の地域相談窓口すたぼ」が設置されることになりましたので、ご紹介させていただきます。

「りすたぼ」とは、一人ひとりの再出発（リスタート）をサポートするとう願いを込めて命名された相談窓口の名称です。

刑務所等を出所した人や保護観察を受けていた人が地域での生活に困ったときの相談や支援だけでなく、地域の方からの犯罪や非行に関する相談を、保護観察官が受け付けます。

相談の内容に応じて、保護観察官の助言だけでなく、関係機関を紹介したりすることになります。

保護司の皆様におかれましては、これまで、元保護観察対象者やその関係者から相談を受けたときに、保護観察官に相談してみたいと思っても、相談しづらい部分があったのではないでしようか。

今後は、保護観察官が元保護観察対象者やその関係者からの相談に応じることができまますので、対応にお困りの際は、ご遠慮なく、「りすたぼ」または地区の担当保護観察官に一報いただきますよう、お願いいたします。

秋田県BBS連盟

★秋田県BBS連盟総会

7月1日、オンラインで開催。今年度の事業計画、予算等について協議した。併せて、昨年度当連盟が主管した東北大会及び研修会の決算報告が行

われた。

★第73回社会を明るくする運動月間

社会を明るくする運動強調月間の開始に当たり、幕開行事として7月3日に秋田駅で関係機関や団体とともに学生会員が広報活動を行った。

★第63回東北地方BBS大会及び令和五年度東北管内地方別BBS会員研修会

8月11日に、青森県青森市で開催され、東北管内のBBS会員ほか関係機関約100名が参集。竹中副会長ほか3名が出席し、「子どもの貧困を考える・私たちにできること」をテーマとした研究協議を行った。

★第五十六回秋田県更生保護士大会

11月20日、あきた芸術劇場ミルハスで開催され、秋田地区の東湖都会員が、秋田保護観察所長感謝状を受領した。

★天使園学習ボランティア

新型コロナウイルスの影響により秋田大学サークルが解散したことで休止中だった天使園学習ボランティアについて、ノースアジア大学生が中心となり再開に向けた準備を開始した。

★ともだち活動

少年1名に対して、学習支援を中心とした「ともだち活動」を行っており、現在継続中。

新たな年は、平穏が戻ったことへの感謝を忘れず過ごしてまいりたいと存じます。皆様にとってよい年でありませう、心よりお祈り申し上げます。



一筆啓上

「社明竿灯」にかける思い

秋田地区協力雇用主協会

竿灯会 金子 雄司

平成24年春、協力雇用主で竿灯を出したいが手伝わってもらえないかというお話をいただいた。協力雇用主はもちろん、秋田県更生保護援助協会、秋田保護観察所、秋田至仁会、保護司等々初めて聞く言葉の波に戸惑いつつ、当時の大歯会長の熱意に押し出されるように竿灯会の立ち上げをお手伝いさせていただいた。

提灯のマークは「ひまわり」と「生きる」マーク、竿灯会の名称とは別に、「社明竿灯」を愛称にしたい。こっちの方がしっくりくるでしょう、という大歯会長と様々なやり取りをする中で聞きなれない言葉を一つ一つ消化して、仲間と共有していった。町内竿灯でもなく企業竿灯でもない、おそらく唯一の団体竿灯の誕生だった。



夜空に輝く 社明竿灯



「生きる」マークと「ひまわりマーク」の半てん

ひまわりのマークは竿灯の提灯にとっても映えるのではないかと当初から思っていた。単純で印象に残るマークは予想以上にお客さんの目に留まり、初年度からうれいお声がけをたくさんいただいた。中には「自分も保護司をやっている、まさかひまわりの竿灯が上がるとは思っていませんでした」と、関西からの一団に握手を求められたり、元不良ペンギンのホゴちゃんと一緒に祭りに参加するという経験もさせていただいた。

まだまだ一般的な知名度が高いとは言えない『社会を明るくする運動』をより多くの皆様の目に触れてもらい、また、秋田の夏の夜空に少しでも多くのひまわりの花を咲かせられるよう精進したい。



ホゴちゃん大人気

更生保護大会特集

令和5年11月20日(月)
あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

去る令和5年11月20日(月)、秋田市のあきた芸術劇場ミルハス中ホールにおいて、東北地方更生保護委員会委員長ほか多数のご来賓、役員等のご臨席のもと、秋田県内の更生保護関係者約700人の参加を得て、第56回秋田県更生保護大会が厳粛かつ盛大に開催されました。

はじめに“社会を明るくする運動”作文コンテストの秋田県内応募の中から優秀賞に選ばれた作文の朗読と入賞者の表彰を行いました。

なお、今年度は小学生から164点、中学生から464点の応募があり優秀作品について全国推薦いたしました。

次に式典前の講演では、秋田大学大学院教育学研究科教授北島正人氏から「“罪を償った人”を受け容れられる社会づくりに向けて」と題しましてご講演いただきました。長年の教育現場に携わられたご経験から大変貴重なお話を伺いました。

その後、開会の辞が告げられ、黙祷・国歌斉唱を行い、主催者を代表して大会長である秋田県保護司会連合会新野建臣会長からの式辞、続いて秋田保護観察所正木勉所長からご挨拶がありました。

続いて、秋田県内の更生保護事業にご功績のありました方々の顕彰を行い、受彰者を代表して横手地区保護司会小野賢三保護司から謝辞がありました。その後、ご来賓を代表して秋田県副知事神部秀幸様、秋田地方検察庁検事正藤本治彦様からご祝辞を頂きました。最後に大会宣言案を大会役員金山智紀保護司から発表があり、拍手をもって賛同、宣言されました。

当日は、秋田地区保護司会、秋田地区更生保護女性会の皆様にお手伝いいただきまして厚くお礼申し上げます。

なお、大会当日の写真はフェイスブックに掲載しております。



スタッフ打合せ



講演タイトル



新野大会長式辞



北島正人講師の講演



1階エスカレーター前
案内看板



第56回 秋田県



正木所長挨拶



法務大臣表彰の皆さん



神部副知事からの伝達
(秋田県知事感謝状)



齊藤県更女連盟会長からの伝達
(東北地方更生保護女性連盟会長表彰)



天内地保連会長からの伝達
(更生保護法人全国保護司連盟理事長表彰)



原沢東北地方更生保護委員会委員長
祝辞



受表彰者を代表して小野賢三保護司から謝辞



秋田保護観察所からの伝達
(秋田保護観察所長表彰)



会場内の表彰者



大会宣言文の朗読



神部副知事祝辞

お知らせ
第57回秋田県更生保護大会

令和6年11月8日(金)
あきた芸術劇場「ミルハス・中ホール」で開催予定です。

栄誉に輝く
叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章

(令和5年11月3日)

令和五年度秋の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。
永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様にご心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。
(敬称略)

叙勲

瑞宝双光章

(更生保護功労)



新野 建臣
(潟上湖東保護区)

褒章

藍綬褒章

(更生保護功績)



嵯峨 義房
(男鹿保護区)

更生保護以外の功労・功績

旭日双光章

(不動産業振興功労)

戸松 清一

(能代保護区)

補正

(令和4年11月3日)

瑞宝单光章

(消防功労)

菅原 俊一

(大曲保護区)

お名前が記載漏れでした。お詫びし改めてご紹介させていただきます。

保護司の異動

任期満了

(令和5年11月30日付)

次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。
(敬称略)

- 佐藤 善清 (秋田(東))
- 堀井 明美 (秋田(中央))
- 渡邊 富美 (秋田(臨港))
- 渡邊 良子 (秋田(臨港))
- 米谷 民憲 (潟上湖東)
- 清水 清孝 (潟上湖東)
- 腰山 良悦 (能代)
- 笠原 貞子 (能代)
- 萩野 百合子 (大館)
- 工藤 哲雄 (鹿角)
- 阿部 照芳 (鹿角)
- 松山 祖隆 (本荘)
- 柴田 為英 (湯沢)
- 能美 光博 (角館)

新任

(令和5年12月1日付)

次の方々が新たに委嘱されました。よろしくお願ひします。今後の御活躍を期待します。
(敬称略)



11月27日座談会出席の方々の集合写真

- 柴田 真紀 (秋田(東))
- 廣田 睦子 (秋田(中央))
- 宇佐美 平 (秋田(臨港))
- 小玉 はるみ (秋田(臨港))
- 佐藤 考悦 (男鹿)
- 石井 均 (潟上湖東)
- 中川 伸一 (潟上湖東)
- 伊藤 誠 (能代)
- 内山 直光 (能代)
- 成田 豊 (能代)
- 三ツ井 倉三 (大館)
- 金澤 大輔 (鹿角)
- 木村 直子 (鹿角)
- 小野崎 和司 (横手)
- 森田 昭善 (湯沢)

おくやみ

- 桑原 利光 (秋田臨港) 死去 享年72
- 令和5年6月29日
- 田口 馨 (大曲) 死去 享年69
- 令和5年9月1日
- 初瀬 武博 (本荘) 死去 享年78
- 令和5年11月12日

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスが落ち着いてきたと思っていたら、今までに経験したことのない豪雨と猛暑、そして熊の出没と大変な年となりました。私も外へ出る時は、一度外を見渡して安全を確認してから外に出るようになりました。別れの挨拶も、「熊に気を付けて」と言うこともありました。今年も、平穏な一年となることを願うばかりです。



明石 浩延

編集委員

- 加賀谷文秋 (編集委員長)
- 金山 智紀 明石 浩延
- 伊藤 妙子 長谷部次子
- 松本 和之 藤井 正人
- 菊地 皆美